

脳梗塞 アルテプラーゼ静注療法 チェックリスト

基本的事項

発症時間(最終未発症確認時間, 症状に気づいた時刻ではない) : _____ 時 _____ 分

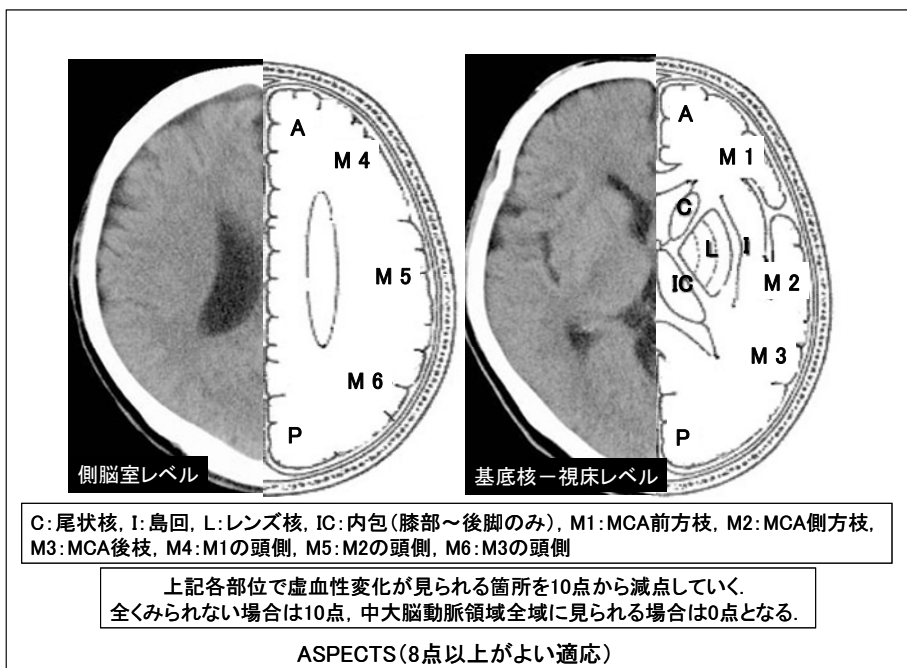
治療開始(予定)時間(発症 3 時間以内の投与が可能である) : _____ 時 _____ 分

インフォームド・コンセントで同意を得られた(可能な限り本人および家人)

治療による効果が合併症の危険率を上回る可能性が高い

適応項目(1項目でも当てはまらない項目がある場合は適応外)

- 脳梗塞である(病型は問わない, NIHSS 5~15 点が良い適応である)
 - 発症 3 時間以内に治療開始が可能である.
 - 症状の急速な改善がない(一過性脳虚血性発作になる可能性が低い).
 - 軽症(失調のみ, 感覚障害のみ, 構音障害のみ, 軽度の麻痺のみ)でない.
- (ASPECTS で 8 点以上)



禁忌項目 (1項目でも当てはまる項目がある場合は適応外)

●画像検査

- 頭部 CT 写真で早期虚血性変化 (MCA の 1/3 以上を占める) がある (別紙参照).
(脳卒中専門医・神経内科専門医・脳外科専門医・指導医 2 名以上で確認).
脳溝の左右差, 基底核の不明瞭化, 圧迫所見, 浮腫, Hyper Dense MCA sign,
皮髄境界の不明瞭化, 大脳動脈支配領域の 33% 以上の低吸収域など
- 頭部 CT (MRI) 写真で出血性梗塞・くも膜下出血である.
- 頭蓋内腫瘍・脳動脈瘤・脳静脈奇形・もやもや病がある.
- 動脈解離が強く疑われる

●既往歴

- 頭蓋内出血 (T2* の microbleeds は含まない)
- 3 ヶ月 以内 の脳梗塞 (一過性脳虚血発作は含まない)
- 3 ヶ月 以内 の心筋梗塞
- 3 ヶ月 以内 の重篤な頭部脊髄の外傷あるいは手術
- 21 日 以内 の消化管あるいは尿路出血
- 14 日 以内 の大手術あるいは頭部以外の重篤な外傷
- 脳動脈瘤・脳静脈奇形・もやもや病
- 治療薬の過敏症

●臨床所見

- 痙攣
- くも膜下出血が疑われる
- 出血の合併 (頭蓋内出血, 消化管出血, 尿路出血, 後腹膜出血, 咯血)
- 収縮期血圧 (適切な降圧療法を行っても) 185mmHg 以上である
- 拡張期血圧 (適切な降圧療法を行っても) 110mmHg 以上である

●血液検査

- 血糖値異常 (50mg/dl 未満または 401mg/dl 以上)
- 血小板 10 万/mm³ 以下
- ワーファリン内服中で, PT-INR が 1.71 以上 (1.70 は適応可能)
- ヘパリン投与中で APTT が延長 (前値の 1.5 倍 以上 または正常範囲を 超える)
- 重篤な肝障害
- 急性膵炎

慎重投与

1項目でもある場合は

脳卒中専門医・神経内科専門医・脳外科専門医・指導医で慎重に検討

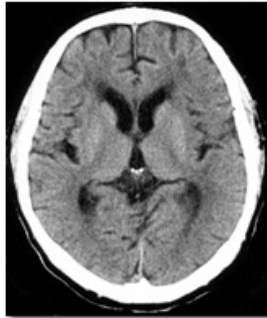
●臨床所見

- 年齢 75 歳以上
- NIHSS スコア 23 点以上
- JCS 100 以上
- 消化管潰瘍・憩室炎・大腸炎
- 活動性結核
- 糖尿病性出血性網膜症・出血性眼症
- 月経期間中
- 重篤な腎障害
- コントロール不良の糖尿病
- 感染性心内膜炎
- 妊婦・産婦・授乳婦
- 投与前に NIHSS が 4 点以上改善
- (頸部血管エコー検査で総頸動脈・内頸動脈の閉塞がある.)

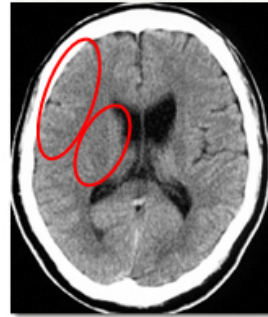
●既往歴

- 10 日以内の臓器生検・血管穿刺(動注療法・動脈穿刺)外傷
- 10 日以内の分娩・流産
- 3 ヶ月以上経過した脳梗塞
- 蛋白製剤アレルギー
- 抗血小板剤内服中
- 無症候性脳微小動脈瘤

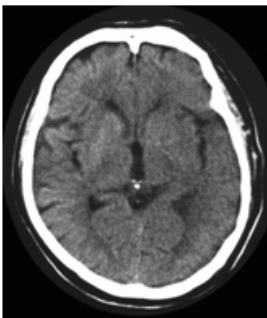
早期虚血性变化(CT写真) rt-PA静注療法指針部会抜粋・獨協医科大学神経内科症例



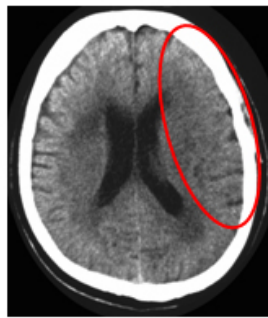
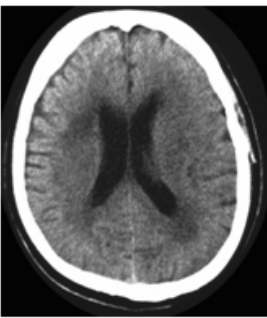
脳溝の左右差
皮髄境界不明瞭化
基底核領域不明瞭化



脳溝の左右差
皮髄境界不明瞭化
基底核領域不明瞭化



脳溝の左右差
皮髄境界不明瞭化
基底核領域不明瞭化



脳溝の左右差
皮髄境界不明瞭化



Hyper dense MCA sign